

※出題範囲は以下の操作や機能を含みますが、これらに限定されるものではありません。

出題範囲（参考訳）

1. テクノロジーの基礎知識

1.1 デジタル環境へのアクセスと環境間の移動を行う

オペレーティングシステムの用語と概念を認識している
 ウェブブラウザの基本的な機能を説明できる
 デジタル環境にアクセスする手順と要件について説明できる
 複数のデジタル環境間を移動する方法について説明できる

1.2 デジタル機器と接続方法を特定できる

入力装置を特定できる
 出力装置を特定できる
 ケーブル、コネクタ、接続について特定できる

1.3 ソフトウェアの基礎的な概念を説明できる

基本的なソフトウェア アプリケーションの概念について説明できる
 私有ソフトウェアとオープンソース ソフトウェアを比較・対比する
 オンラインソースからソフトウェアをインストールする手順について説明できる

1.4 ハードウェアの基礎的な概念を説明できる

コンピューターデバイスに関わる概念を説明できる
 メモリに関わる概念を説明できる
 データストレージに関わる概念を説明できる

1.5 オペレーティングシステムの基礎的な概念を説明できる

モバイルデバイスのオペレーティングシステムの機能を比較・対比する
 コンピューターのオペレーティングシステムの機能を比較・対比する

1.6 ネットワークの基礎的な概念を説明できる

ネットワーク接続の概念について説明できる
 インターネット接続の概念について説明できる
 ネットワークと接続の種類を比較・対比する
 ネットワーク インフラストラクチャについて説明できる
 デバイスが接続状態か否かを判別できる
 ネットワークのトラブルに対する基本的な対処方法について説明できる

2. デジタル社会の一員としての責任（デジタル シティズンシップ）

2.1 デジタル アイデンティティを形成し、管理する

インターネット上の個人データの管理方法について説明できる
 個人を特定できる情報（PII）の管理方法について説明できる
 デジタル空間でプライバシーとセキュリティを維持する方法について説明できる

出題範囲（参考訳）

2.2 ネットワーク上の評判を築く、管理する、守る

デジタル空間でとられた行動の永続性について認識している
法やモラルに適ったテクノロジーの利用方法について認識している

2.3 ネットワーク上の不適切な行動やコンテンツに対応できる

ネガティブなデジタルコミュニケーションの影響について説明できる
インターネット情報の信憑性を評価できる
インターネット上の匿名性の重要性について説明できる
ネガティブなコミュニケーションに反応しないことの有用性を説明できる

3. 情報の管理

3.1 オンライン検索が利用できる、検索条件を絞り込める

目的を達成するために必要な情報を明確にできる
有用な検索結果とそうでない検索結果を判別できる
検索および調査結果の出所（ソース）の参照情報を収集する、保持する

3.2 デジタルコンテンツ内で検索する方法について理解している

ファイル内の情報を検索する機能について説明できる
ウェブページ上の情報を検索する機能について説明できる

3.3 デジタルコンテンツの著作権とライセンス制限について理解している

パブリックドメイン（公有コンテンツ）の基本について説明できる
クリエイティブコモンズの基本について説明できる

4. コンテンツの作成

4.1 基本的な文書やプレゼンテーションを作成できる

基本的な文書作成スキルを示せる
基本的なプレゼンテーション作成スキルを示せる

4.2 一般的な参照や帰属の方法を理解している

参照と帰属を定義できる
参照と帰属の目的を説明できる
オンライン上で参照元・帰属元を見つけることができる
ドキュメントの中で、適切にウェブサイトからの引用ができる

4.3 作業内容の保存やバックアップができる

通常のデジタル作業環境において、いつ、どこで、どのようにデータのバックアップを行うかを判断できる
ファイル管理の原則や一般的な命名規則に従って行動できる

4.4 印刷の基礎的な概念を理解している

印刷の向きについて説明できる
両面印刷について説明できる
一般的な印刷設定について説明できる
印刷方法について説明できる

出題範囲（参考訳）

5. コミュニケーション

5.1 デジタルな手段を用いて自分を表現する

デジタル空間のどこで投稿や情報共有（シェア）ができるか知っている
 投稿やシェアに関するプラットフォーム別のガイドラインについて認識している
 投稿やシェアに関する利用規定を理解し、従うことができる

5.2 デジタル環境で他者と交流する

任意のデジタルテクノロジーを使って交流できる
 効果的な交流の方法とそうでない方法を判別できる
 差別のない包含的な言語表現が使える
 電子メールの異なる返信方法について判別できる

6. 共同作業

6.1 デジタルな共同作業の概念を特定できる

デジタルな共同作業のメリットを特定できる
 同期通信および非同期通信について定義できる
 同僚の作業を校正し、コメントする方法を特定できる

6.2 共同作業における標準的なデジタルエチケットを特定できる

文章による共同作業のデジタルエチケット
 視覚伝達による共同作業のデジタルエチケット

7. 安全とセキュリティ

7.1 デジタル空間におけるセキュリティの脅威について説明できる

7.2 デバイスやデジタルコンテンツを保護できる

安全なパスワードの特徴を特定できる
 いつどのようにパスワードをリセットするかを特定できる
 いつどのようにデバイスをロックするかを特定できる
 保存されたブラウザ設定をクリアする方法について説明できる

7.3 データ収集テクノロジーについて認識している

閲覧履歴追跡の仕組みについて説明できる
 閲覧履歴追跡に関わるセキュリティ上の懸念について説明できる
 デバイスに情報を保存することへのセキュリティ上の懸念について説明できる
 ブラウザーのプライベートモードを使用するメリットについて説明できる

7.4 デジタルテクノロジーの利用に伴う健康リスクを特定できる

オンラインテクノロジーに伴う心の健康リスクを特定できる
 コンピューターやデバイスの利用に伴う身体的な健康リスクを特定できる